

日本からの参加者のひと言

プログラムに参加して最も良かった点は、異なる考え方を
持つ世界中から集まった同級生と机を並べて2年間勉強で
きたことです。

エラスムス・ムンドゥスを他の学生にぜひ勧めたいです。
日本にはわからない言葉の壁、文化の壁等を経験する
ことで、世界をこれまでとは全く違った角度から観るこ
とができるようになるからです。また、充実した奨学金制度
があることも推薦したい理由のひとつです。

エラスムス・ムンドゥスの修士課程のように欧州に英語で
授業を受けられるコースがあることが広く知れ渡れば、今
後出願者は増えると思います。

(守本剛 2005年に参加)

その他の日・EU 学術協力

2002年以来、日本政府(日本学生支援機構)と欧州委員会は、
日本と欧州の大学間共同プロジェクトを通じて、高等教育分
野における日・EU協力を助成しています。

選ばれた共同プロジェクトは、こちらのウェブページでご覧
下さい。

[http://ec.europa.eu/education/programmes/eu_others/
japan/index_en.html](http://ec.europa.eu/education/programmes/eu_others/japan/index_en.html)



駐日欧州委員会代表部広報部

〒102-0075 東京都千代田区三番町9-15 ヨーロッパハウス

電話 (03)3239-0441

ファクス (03)3261-5194

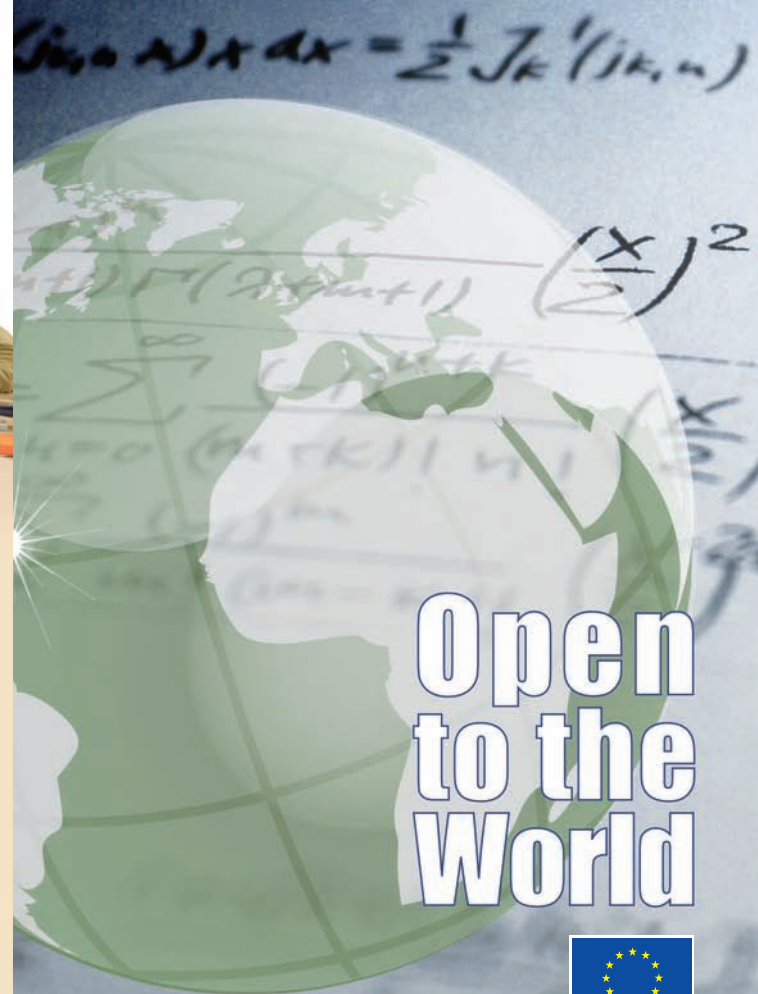
<http://www.deljpn.ec.europa.eu>

制作 2009年7月

ERASMUS MUNDUS

2009 - 2013

エラスムス・ムンドゥス



Open to the World



欧州委員会

エラスムス・ムンドゥスとは

「エラスムス・ムンドゥス(Erasmus Mundus)」は、欧州の高等教育の質を高めることを目的とした、高等教育分野における教育機関の連携と、学生・研究者(大学の教職員を含む、以下同じ)の交流を促進するための計画です。同計画は、EU域外諸国との協力を通じて、人と人、また異文化間の対話と相互理解を促進します。

2009年～2013年を対象としたエラスムス・ムンドゥス計画の助成対象は以下の通りです。

- 大学院レベルの共同プログラムの実施(アクション1)を目指す高等教育機関。また欧州と欧州以外の特定対象国の教育機関どうしの協力パートナーシップの構築(アクション2)を目指す高等教育機関
- 上記共同プログラムまたは協力パートナーシップを通じて学び、研究し、教える機会を得ることを希望する個々の学生、研究者
- 世界における欧州の高等教育の魅力、知名度およびイメージを高めることを目的としたプロジェクトの開発に関心がある高等教育分野関連団体(アクション3)

日本に関連の深いエラスムス・ムンドゥス・アクションの詳細

1

アクション

エラスムス・ムンドゥス修士・博士課程プログラム(奨学金を含む)

少なくとも3つのEUの高等教育機関がコンソーシアムを作り、卓越した学術水準の共同プログラムを企画・実施するもの。コンソーシアムには、最低3つのEUの高等教育機関に加えて、域外の大学が参加することもできます。

奨学金は、世界中の学生および研究者に開かれています。参加者は、コンソーシアムを構成する教育機関の少なくとも2つで必須の学習・研究期間を過ごした後、同時に複数の機関から学位を取得するダブルディグリーやマルチプルディグリー、または複数の教育機関が共同で1つの学位を付与するジョイントディグリーを得ることができます。

○参加資格

共同プログラム——EU域内外の高等教育機関および研究所
奨学金——EU域内外の修士・博士課程の学生および研究者

○募集時期

2010～2011年に実施される修士・博士課程については、2009年2月に提案の募集要項が発表されています。

2

アクション

EU域外の高等教育機関とのエラスムス・ムンドゥス・パートナーシップ(奨学金を含む)

コンソーシアムという形でEU域内と域外の高等教育機関がパートナーシップを形成し、博士課程の学生や研究者の交流を促進するもの。留学・交流期間はさまざまです。コンソーシアムには、少なくとも3つのEU加盟国にある最低5つの高等教育機関と、EU域外(東アジアを含む)にある複数の高等教育機関が含まれていなければなりません。

○参加資格

パートナーシップ——EU域内外(東アジアを含む)の高等教育機関

奨学金——EU域内外の博士課程の学生

○募集時期

エラスムス・ムンドゥスのアクション2に関する次期提案募集は、2009年の第4四半期に発表される予定です。

なぜエラスムス・ムンドゥスなのか

エラスムス・ムンドゥス計画は、欧州の大学を世界に開かれたものにし、欧州以外の地域の学生に欧州連合(EU)で学ぶ機会を提供しようという強い願いから生まれました。この構想の背景には、これまで20年以上にわたって、欧州の学生たちに出身国以外の欧州諸国で学ぶ機会を提供してきた学生・研究者交流計画「エラスムス」の成功がありました。

この計画の名前は、15世紀から16世紀に活躍したオランダの学者で人文主義者のエラスムスに由来します。エラスムスは、欧州各地を渡り歩いて研究を続け、当時欧州で活躍していたほとんどの知識人と交流がありました。

さらに詳しい情報は

高等教育機関、研究所およびその他の高等教育分野関連の組織・団体は、エラスムス・ムンドゥスのウェブサイトで公表されているプログラムガイドおよび募集要項に従って、提案を提出してください。

http://eacea.ec.europa.eu/erasmus_mundus/index_en.htm

学生および研究者は、自分が希望するエラスムス・ムンドゥス共同プログラムに直接応募してください。プログラムおよびパートナーシップの一覧は、以下のウェブページに公表されます。

http://ec.europa.eu/education/programmes/mundus/projects/index_en.html (プログラム)

http://ec.europa.eu/education/programmes/mundus/projects3_en.html (パートナーシップ)

エラスムス・ムンドゥス2009～2013の運営は、欧州委員会の教育・文化総局の指揮の下、教育・視聴覚・文化執行機関(EACEA)が行います。

これまでの実績 (エラスムス・ムンドゥス2004-2008)

2004年から2008年までの過去5年間に、約400の機関が103のエラスムス・ムンドゥス修士課程を設けました。

また、これまで、欧州に留学するEU域外からの学生には約6,000件の奨学金が授与され、EU域外の研究者には約1,000件の研究奨学金が与えられました。